

# 在校生からのメッセージ

新入生



都市・環境工学科1年  
小野 梨桜さん  
(大分市立滝尾中学校出身)



## 都市・環境工学科に入学して

私は、中学校卒業後の進路を考えていく中で、“design”に関する仕事に興味を持ちました。また、私は、英語が好きで、将来は海外で働きたいという夢があります。中学校の担任の先生に相談し、自分に合う進学先として5年間を通して専門的な技術を学べ、国際交流も行っている大分工業高等専門学校を紹介していただきました。

大分高専について色々調べると、専門性の高い授業・実習はもちろん、自由な校風やマシンボランティア活動など興味を持つ点が多くありました。普通科高校では学べないこと、体験できないことをしてみたいと思い、大分高専への進学を決意しました。

授業は、午前2コマ、午後2コマで、1コマの授業時間は90分です。最初は戸惑いましたが、すぐに慣れました。90分授業のいいところは、授業中に考える時間が十分にあることです。先生たちの授業自体が個性的で、とても楽しいです。

部活動がたくさんあるところも魅力です。中学校のときは、バスケットボール部に所属していました。高専でも部活動に所属する予定です。部活見学に行ったとき、優しく接してくれる先輩方が多く、低学年から5年生までの結びつきが強いと感じました。

ここにはいろんな人がいて、たくさんのことが学べます。大分高専の受験を考えている中学生のみなさん、ぜひ一緒に学びましょう！



情報工学科3年  
江藤 美紀さん  
(宇佐市立安心院中学校出身)



## 自由かつ自立した高専生活を

私は、実は入学当初全くパソコンを使ったことがなくタッチタイピングもできませんでした。情報工学科では、1年生の頃から専門教科を学ぶのですが、パソコンを扱う授業ではコンピュータの基本操作やアプリケーションの使用法から習うのでパソコンを使ったことない人でも心配いりません。専門教科は、コンピュータやインターネットの仕組み、プログラミングなどを沢山の演習・実験を含む授業を通して学びます。2年生では、実際に授業で学んだ知識を活かしてミニゲームやWebサイトを作ったり、ロボットをプログラミングで動かしたりしました。学年が上がるにつれて専門教科が増え内容も難しくなっていきますが、気軽に先生にわからないところを聞きに行ける時間が設けられています。高専は、工業高校に比べてより専門的な機器を使った実験や専門科目が充実しており整った環境で学ぶことができます。勉強の他にも、高専祭や体育祭、音楽祭などがあり学校行事も充実しています。さらに、普通の高校より長期休みが長いので有効に使えばいろいろなに挑戦することができます。大分高専は自由な校風だからこそ自立し自分自身を成長させることができると思います。今、インターネットは私たちの生活に深く関わっており情報技術は様々な分野で活用されています。ぜひ、高専で情報技術を学び情報社会の可能性を広げてみませんか？



電気電子工学科5年  
大下 昂亮さん  
(大分市立植田中学校出身)

## エンジニアを目指すみなさまに向けて

皆さんは自身の将来についてどうお考えでしょうか？

様々な選択肢の中で皆さんがエンジニアを目指すのであれば私は大分高専をオススメします。昨今の技術の進歩は目覚ましく、そのニーズや競争が拡大する中でエンジニアという存在はとても重視されています。大分高専ではそんなエンジニアに必要な知識、技術を低学年の時から習得することができます。講義で学ぶことはもちろんですが、高専といえばやはり本格的な実験でしょう。実際に工具や機器を扱うことで実践的な知識、技術をさらに高めることができます。また5年生の卒業研究では研究者として未知の課題に取り組むことができ、自身の力が実際に試される場になります。このような多くのトレーニングを経て、卒業時には社会で活躍できるエンジニアになれます。

卒業後の進路では、多数の企業から届く求人票の中から自身の入社したい企業に応募することができます。また、大学や専攻科に進学し、さらに自身の力を高めることもでき、卒業後も幅広い選択肢があります。

勉強面以外にも多くの選択肢がある部活動や高専祭、体育祭などのイベントも高専の特徴で、エンジニアの力だけでなく、人間としての力も養うことができます。私は軽音楽部に所属しており、高専祭や音楽祭など様々なイベントで演奏し、充実した日々を送っています。

是非、皆さんも大分高専でエンジニアを目指してみませんか。